

Grinder-Man Performance ⅢⅢ

Binary Rider

AI-HALL 自主企画 vol.139

グラインダーマン パフォーマンス "バイナリーライダー"



2003年 2月15日 (THU) / 2月16日 (FRI)

会場

AI-HALL

アイホール <伊丹市立演劇ホール>

協賛

Asahi / Agnis &

Grinder-Man Performance III Binary Rider

2003年2月15日(土) 19:30~ / 2月16日(日) 15:00~

1時間前より入場整理券を発行 / 開場は開演の30分前 / 全席自由

一般前売 2500円 当日 2800円 日時指定 / 学生 1500円 要学生証
前売・当日共

- チケットぴあ : 06-6363-9966 Pコード 410-291 / 0570-02-9999
- JCDNダンスリザーブ (オンライン予約) : <http://dance.jcdn.org/>
- アイホール (当日精算) : 072-782-2000

多くの情報が電子化され、メールによってわれわれの感情が伝達される今日、バイナリーコードの世界は確実に拡張しつつある。ストリートを占拠したフランチャイズ。繰り返し発信される指向性プログラム。コピー&ペーストで増殖するリアル。その連続から脱する瞬間に感じる、あのトキメキは双方向なのか? この頬をつたう涙は何なのか? 今も進行する天文学的なスイッチングの火花は、連鎖的に"1"と"0"に置換され、あくまでも一方的に時間軸は構築される。

パフォーマンス "Binary Rider" はグラインダーマンによる男と女についての一考察である。2002年10月東京六本木THINK ZONEにて初演され、グラインダーマンとしては関西における初の単独公演となる。天井からステージへのプロジェクションをアクティブな照明や舞台装置として使用し、電子マトリクスや四季のテクスチャを映し出すことで会場の世界観を瞬時に変化させる。シンメトリーな演出と対になるイメージ(0/1・男/女・白/黒・生/死 etc.)を隠喩的に随所にちりばめつつ、グラインダーマンの作り出す世界の秩序は、女性というカウンターが侵入することで緩やかに解体されていく。

時の鼓動となるテクノミュージック、拡張された身体としての鋼鉄製アイテム、ハイファッションに身をかためベクトルの彼方へ置換されるダンス、実写からCGまで縦横無尽に展開する映像。そんなオリジナルコンテンツを集中的に一つの時・空間に埋め尽くすことで形成されるグラインダーマンディメンション。さあいこう、つかの間のトランジットタイムにとどまることなく、走りつづけるフラットエンドを探求するために。

www.grinder-man.com 

演出 / 構成 : グラインダーマン

出演 : グラインダーマン 00~04 / G-Lady01~04

主催 : 伊丹市 / (財)伊丹市文化振興財団

協賛 : **Asahi** アサヒビール株式会社 / *agnès b.*

協力 : 株式会社ボール / 森美術館

AI・HALL アイホール <伊丹市立演劇ホール>

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

tel: 072-782-2000 fax: 072-782-8880

HP: www6.ocn.ne.jp/~aihall/

e-mail: aihall@juno.ocn.ne.jp

- JR宝塚線「伊丹駅」徒歩1分
- 阪急伊丹線「阪急伊丹駅」徒歩10分

